

あぐりサポートニュース

福島県農業振興公社だより

第 2 号 平成 1 2 年 1 2 月

発行元 福島市中町 8 番 2 号

財団法人福島県農業振興公社

TEL 024-521-9833 FAX 024-524-2393

平成 1 2 年度都道府県農業公社役員・幹部職員研修会 猪苗代で開催される！



都道府県農業公社の果たすべき役割と公社事業の積極的展開方向等について相互研鑽することを目的として、全国農業公社の役員および幹部職員 101 名が参加し、平成 12 年 10 月 24 日（火）～ 25 日（水）猪苗代町のホテルリステル猪苗代において研修会が開催されました。全国農地保有合理化協会近長副会長・農林水産省東北農政局長岡局長・当公社安藤理事長のあいさつのあと、農林水産省千代島主席企画官の「食料・農業・農村基本法の制定と構造政策の方向 - 農地保有合理化法人に期待するもの」と題して講演。同氏は今後の農業構造の展望、農地流動化の状況等と農地流動化推進に向けての取組、遊休地対策について話され、また、今後の政策推進の中で、「望ましい農業構造の確立」が重要であり、都道府

県農業公社事業の工夫や市町村農業公社等との連携などを通じて、都道府県農業公社の役割は今後ますます大きくなると述べられました。

つぎに、当公社佐瀬審査役、片平農地調整課長より「集落などの一定の広がりのある地域を対象とした農地利用の再編成と公社の役割 - 公社の介入と実施の手法」と題し報告しました。（詳細次ページに掲載）

最後に、全国協会近長副会長の基調報告後、「我が公社の今後の事業戦略」と題し、新潟県農林公社の松本専務理事、ひょうご農村活性化公社の今田副理事長、鳥取県農業開発公社の山本専務理事、福岡県農業総合開発公社の陶山常務理事から報告があり、また、岩手県農地管理開発公社の中村副理事長より「ISO の認証取得と公社事業戦略」について報告がありました。

2 日目の現地視察は天鏡台（昭和の森）から町を一望して、猪苗代町の農業概況、大区画ほ場整備の実施状況を片平農地調整課長が説明しました。

2 日間にわたる研修会は無事終了し、とくに当公社の総合推進事業を核とした集積事業の取組およびマッピングシステムについては、各都道府県公社の役職員から高い評価が寄せられた。

福島県農業振興公社の報告概要

開催地に福島県が選定されましたのは、農業者の高齢化や担い手の不足が叫ばれる中で、現在猪苗代町などを中心に地域の農業者の方々と当公社が、毎夜のように集会所に集い、夜の更けるのも忘れて話し合い・知恵を絞り有ってムラづくりを進めている「集落など地域を対象とした集団的な農地利用の集積手法」が、高い評価を受けたためであります。

現地報告は、全国構造政策推進会議奨励賞を受けた猪苗代町の「戸ノ口」地区から始まりました。

戸ノ口地区は平均耕作面積80a、25戸1集落20haの地区ですが、耕作放棄地を出さないため農地を貸し付ける目的で、1haの大区画、用水排水のパイプライン化などの高生産性農場のほ場整備を行い、話し合いで集落の担い手2名に全部を任せました地区です。

次いで、豊かな村づくり全国表彰事業において東北農政局長賞を受けた同じ猪苗代町の「烏帽子」地区です。

烏帽子集落は町の中心地に近く平均耕作面積約2.8ha、25戸1集落70haの地区です。

烏帽子の皆さんは、生産コストの低減を目的に農業機械利用の再編に積極的に取り組み、1つの農業法人、3つの受託生産組織そして一人の担い手へ機械農作業の集積を実現しました。



春秋の農繁期には、大勢の方が田圃に集まり、にぎやかで楽しい農作業が実施されております。

「大型機械の負債を一人で背負わなくても良くなった、病気や怪我でも仲間が助けてくれる安心が一番良かった」との声が聞かれます。

次が全国構造政策推進会議農林水産大臣賞を受けた原町市の「高」地区です。

高地区は、平均耕作面積80a、101戸2集落80haの地区です。地下水の汲み上げによる地盤沈下など多くの問題に早くから地域で取り組み、農地利用の集積については集団転作のブロックローテーションを効率的に行うため、ほぼ全ての農地を一旦当公社に貸付することで集落農場を実現して、毎年の計画に基づき、直播団地、麦転作団地、個別移植団地に3分割して利用しております。

最後は、昭和村の「中向」地区です。

昭和村は高齢化率が高く、担い手の少ない地域ですが、「高齢者が元気で農業を続ける」ことが一番との認識で、村とJAが一致協力して農業法人を設立し、機械作業は農業法人、肥培管理は高齢者との役割分担を実現して、特に中向地区はその中心になって、ほぼ半数の農地利用を農業法人に集積しています。

いずれの事例も、農業者の知恵あふれるムラづくりに大きな拍手が相次ぎました。





今回は、「公共牧場機能強化事業」を紹介いたします。

この事業は、阿武隈高原中部県立自然公園「富士山に見える北限の町いわしろ・日山」の山麓で、牧場と一体となった緑空間の提供を図るため、放牧場整備・環境保全施設による滞在型エリア等の整備を実施しているものです。

全体計画の概要は次のとおりです。

事業主体	岩代町	
事業年度	平成 10 年～ 12 年度	
事業種目等	草地造成・整備工事	9.8ha
	牧場広場整備工事	162m
	東屋木造平屋建	3 棟

青年農業者等育成センタ -

関谷裕幸さん (SAF会) 意見発表で最優秀賞受賞!

～ 第 31 回東北農村青年会議宮城大会から ～

平成 12 年 11 月 15 日～ 17 日の 3 日間、宮城県松島町において、標記会議が開催されました。

この会議は、東北の青年農業者が一堂に会し、日頃の活動を通じて得た知識・技能及びプロジェクト成果を相互に交換等を行い、新しい農業経営者としての資質向上を目的として、開催されたもので、本県からも、当公社の青年農業者等育成センタ - から派遣した 2 名 (プロジェクト発表者 佐原洋一郎さん、意見発表者 関谷裕幸さん) を含む 21 名の青年農業者が参加しました。参加者

は、現地研修で先進施設を熱心に視察したり、東北農政局長を囲んでの ト - キングで、積極的に質問するなど、真剣に各行事に参加していました。また、意見発表で関谷裕幸さんが最優秀賞である東北農政局長賞を受賞し、平成 13 年 2 月 28 日～ 3 月 2 日に開催される全国青年農業者会議に東北代表として発表することになり、活躍が期待されています。



写真中央 関谷さん

経営開始支援資金貸付金の償還免除について

当公社の青年農業者等育成センタ - が貸付けしている経営開始支援資金については、貸付けしてから 5 年を経過した時点で、一定の要件を満たしている場合は、償還免除申請をすることができることとなっておりますが、今年度は、平成 7 年度に借受された方が、その対象者になっております。償還免除申請の具体的な事務手続き等については、次の償還免除要件を満たしている方が、償還免除申請書 (添付書類含む) を地域農業改良普及センタ - へ提出し、普及センタ - からは、提出された免除申請書に地域農業改良普及センタ - が作成する就農状況確認書を添えて育成センタ - へ送付して頂き、貸付審査会 (平成 13 年 2 月下旬、3 月下旬の 2 回開催予定) において、償還免除の適否を判断することとしています。

- 免除要件**
- ・ 農業委員会からの就農日数 (150 日以上) の証明書があること。
 - ・ 他産業に従事していないこと。
 - ・ 将来の営農構想 (別に定める様式) が確認できること。
 - ・ 免除申請時の数値が、認定を受けた就農計画の目標数値 (経営規模、販売量、農業所得) を概ね達成していること。

公社利用者の声

「集落営農と公社のリース事業」

会津若松市湊町

西田面農業生産組合長 岡島 昭夫

平成8年担い手育成型県営ほ場整備事業湊地区の事業を契機に、西田面集落43戸の農家で構成する農用地利用改善組合を設立し、集落の受益地約80haの農地集積を実現するため、公社の総合推進事業を取り組んだ。

また、平成10年には、農業機械の共同利用を目的とし、集落の30名の農家で構成する農作業の請負組織、生産組合を設立し、

農業機械投資抑制のため総合推進事業のリース事業により、田植機2台(8条植)、コンバイン2台(5条刈)、刎運搬コンテナ4台を導入、更にリース料助成もあり、大幅な経費低減が図られた。

今後は、平成11年、12年組合員約40haの水稲と約20haのそば転作の農作業受託を継続しながら、利用改善組合と歩調を合わせ、将来の集落営農を担うため、更には経営安定のため事業を進めていきたい。



右 岡島組合長
左 湊土地改良区 鈴木主任



編集後記

今年も残すところ、あと少しとなり、いよいよ新世紀の幕開けです。来る21世紀は、世界的な食料不足の到来、国民生活を守っている農業の多面的な機能等から、農業が花形産業と言われていきます。一方では、農業従事者の高齢化、米価の下落等農業を取り巻く環境も年々厳しくなっています。しかし、こんな厳しい時代だからこそ、農業は、やり方次第では、花形産業になりうる可能性があるし、その手伝いを私達も少しでも出来ればと考えています。 K・K

問い合わせ

あて先 〒960-8681

福島県福島市中町8番2号

財団法人福島県農業振興公社 総務課

TEL 024(521)9834 FAX 024(524)2393

みなさんのご意見ご感想をお寄せください。

この広報誌は、再生紙を利用しております。

「あなたを、守る シートベルト 忘れないでね」